

2005年12月12日

ジェトロ

“ バングラデシュ投資セミナー ” 報告書

- . 名称：バングラデシュ投資セミナー
- . 日時：2005年12月7日（水）10:00～12:00
- . 会場：東京商工会議所ビル講堂
- . 主催：日本・バングラデシュ経済委員会、国際連合工業開発機関（UNIDO）、駐日バングラデシュ大使館
- . 後援：（財）海外投融資情報財団、東京商工会議、ジェトロ
- . 内容：
 - . 開会挨拶：
モハメッド・セラジュール・イスラム 駐日バングラデシュ人民共和国特命全権大使
 - . 挨拶：
野島行二 日本・バングラデシュ経済委員会委員長
 - . 「輸出加工区における投資機会について」：
アブ・レザ・カーン バングラデシュ輸出加工区技術担当理事
 - . 「バングラデシュ進出日本企業の経験談」：
中島喜代典 丸三産業株式会社 専務取締役
 - . 質疑応答
 - . 駐日バングラデシュ商務参事官より挨拶
Md. アブドゥル・マンズール・ファイズラ 駐日バングラデシュ商務参事官
 - . 閉会挨拶：
Md. ディダルル・アサーン バングラデシュ首相府官房長
- . 配布物：
 - . 『バングラデシュ投資セミナー・プログラム』
 - . 『バングラデシュ大使 M. セラジュール・イスラム閣下ご挨拶要旨（英文）』
 - . 『バングラデシュ大使 M. セラジュール・イスラム閣下ご挨拶要旨（和文）』
 - . 『INVESTMENT OPPORTUNITIES IN THE EPZs OF BANGLADESH』
 - . 『バングラデシュ輸出加工区への投資機会』
 - . 『投資の明星』
 - . 『バングラデシュ日本企業支援』
 - . 『第33回日印（日本・インド）経済合同委員会会議へのオブザーバー参加のご案内』
 - . 『ゆにわーど』
- . 公演内容など
- . 開会挨拶：
モハメッド・セラジュール・イスラム 駐日バングラデシュ人民共和国特命全権大使
タタ財閥（インド）が20億ドルの投資を申し込んでいる。また、Singtel（シンガポール）の

投資額が約2億ドルは達成している。バングラデシュは主要外国企業に有望な投資先として認識されている。

密接な経済関係に関わらず、日本からの投資額は当国の期待している水準には達していない。当国が投資先として有望な理由は以下の3つ。

1. 人口が1億4,500万人に上る。
2. 知的能力が高く低廉な労働力が豊富である。
3. 当国国民は親日的である。

今年7月ジア首相が日本を公式訪問した後、日本企業家の当国訪問への機運が高まっている。例えば、東レでは当国への投資の検討が進められている。

配布物、および を参照。

. 挨拶:

野島行二 日本・バングラデシュ経済委員会委員長

低廉かつ質の高い豊富な労働力が最大の魅力。

. 「輸出加工区における投資機会について」:

アブ・レザ・カーン バングラデシュ輸出加工区技術担当理事

配布資料(配布物)に沿って説明。

. 「バングラデシュ進出日本企業の経験談」:

中島喜代典 丸三産業株式会社専務取締役

1994年にチッタゴンに工場を設立。

進出要因は以下の5つ。

1. バングラデシュではジュートが採れる。
2. EPZでは100%外国投資が可能。
3. ローブ産業は日本では斜陽産業だが、バングラデシュを拠点に輸出ができる。
4. GSPがもらえるものについては関税がゼロになる。
5. 豊富な労働力。

バングラデシュの問題点は以下の3つ。

1. 停電がある。(EPZ内では長時間の停電はない。ちょっとした停電が1日に何度もある季節がある。)
2. 特に3~5月、水不足になる。水を循環させる機械を導入したが、水を購入している状況。
3. ハルタルがある。

. 質疑応答

政情不安が労働問題に与える影響について詳しく教えていただきたい。

原理主義の影響は受けていない。

(配布物中の)「INDICATIVE LIST FOR SETTING UP INDUSTRIES」の中に、コンピューター・ソフトウェアとICTがあがっているが、具体的にどういう分野があるのか。

EPZ内にはIT産業の数はまだ限られている。

IT分野ではどういう人材がいて、どういう教育をしているのか。

ITエンジニアは豊富にいる。

インフラの現状と将来はどうなっているのか。

最近、海底ケーブルを施設し、まもなく準備が整う。

ダッカ、チッタゴンのEPZには空き区画がないのか。

ダッカ、チタゴンには空き区画はない。近郊に2つ新しいEPZ開発を行っている。ダッカ近郊の新しいEPZにはマツオカ・グループが投資することを聞いている。

どのように優秀な経営幹部候補を獲得したのか。

募集広告（新聞、貼紙）をかけた。

ダッカでのオフィスの賃料はいくらか。

商業地域で、40タカ/平方フィート。

繊維産業について、川上・川中の投資誘致をどのように考えているのか。

当国ではファブリックが不足している。

川上・川中に日本以外に中国・インドなどから投資があるのか。

中国・韓国など多くの国が繊維産業に投資をしている。

厚生委員会が活発化してきていると聞かすが、BEPZA どのように対応状況しているのか。

今のところ特段問題は出てきていない。

最低賃金について、毎年増額を求められていて大変困っていると聞いているが考えをお伺いしたい。

法律に基づいて最低賃金以上払ってよいということになっており、その判断は企業の判断。

労働組合とハルタルがリンクしてしまった場合、政府はどのように対応するのか。

労働者自体がハルタルのような古い活動に興味を示していない。

電力の供給についても同様、政府は水の供給についてこれまでどのように対応し今後どのように対応するのか。

水の供給に関しては、チタゴンでプロジェクトが完了すれば問題は解決する。

・ 駐日バングラデシュ商務参事官より挨拶

Md. アブドゥル・マンズール・ファイズラ 駐日バングラデシュ商務参事官

・ 閉会挨拶：

Md. ディダルル・アサーン バングラデシュ首相府官房長

ジェットロの投資コスト調査によると、他国とくらべてもバングラデシュの投資コストが安くなっており、投資のポテンシャルが成功裏に大きくなっている。

以上